



湯梨浜中学校だより

『礼輪笑活（れいわしょうかつ）』

湯梨浜町立湯梨浜中学校

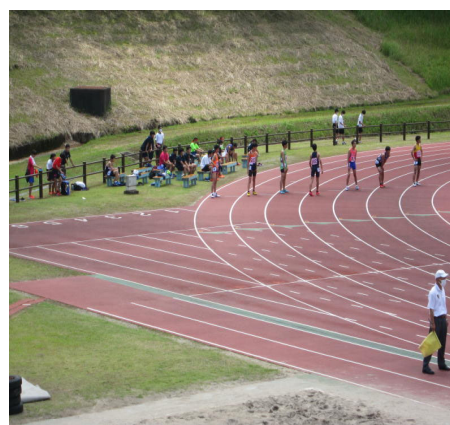
校長 梅津 寿文

令和2年7月21日

先週の18日～19日まで中部地区総体が行われました。どのチームや選手、役員も「感染症・熱中症」対策も含めて、大変な大会となり本当にお疲れさまでした。それぞれの対戦やレースでは、「もう少し！あと一歩！」という悔しさと、「ほんとうによくやったな～」と健闘を讃える思いの2日間でした。まだ、野球が25日（土）、柔道が8月1日（土）、剣道が8月3日（月）に試合がありますので、そこでの活躍を期待しています。

とにかく、試合結果だけでなく、今までの取り組みをしっかりと振り返り、「部活のときだけあいさつをする・授業をおろそかにする」というようなことがないように、これからの学校生活を大切にしてこそ「部活動をとおしてさまざまな力を身につけた」ことになると思います。ゆっくり休んでリフレッシュしたら、次の目標に向けて歩み始めてください。今回で部活動を引退した3年生は「進路の実現」という最大の目標に向けて、2年生・1年生は次の大会やステージに向けて新たなスタートを切りましょう。下の写真は、私が役員をしながら大会の合間に応援・撮影したもので、全ての種目には行けませんでした。雰囲気だけでもお届けします。

★裏面には修学旅行について記載しています。



【修学旅行について（現状と今後の予定）】

10月16日～18日に延期した3年生の修学旅行について、現状と今後の予定をお知らせします。当初、県内の中学校では東京・沖縄・関西地方を中心に計画されていたのですが、現時点ではほとんどの中学校が大幅に計画を変更して、県内周辺での活動かまたは中止へと修正しています。

本校でも先日、3年生の生徒全員、3年の保護者へアンケートを依頼して、さまざまなご意見をいただきました。それぞれの希望の状況と意見としては、以下のとおりです。

1《関西方面での実施》

◇生徒2割：・・・中学校での思い出をつくりたい。・中学校生活で一番楽しみ。

◆保護者2割：・・・京都やUSJに行かせたい。・友人と旅行に行く経験はなかなかないので行かせたい。・実施してほしいが、喘息などの持病のある子の感染が心配。等

2《場所を変更して実施》

○生徒6割・保護者5割：意見は同じような内容・・・ことごとく行事がなくなり、心が痛む。・貴重な体験、思い出を残してやりたい。・日帰りや近場、県内なら可能ではないか。・生徒たちに残るものを。・山陰地内で1泊2日にする。・生徒の思いを大切に、修学旅行の目的を明確に。安全で安心していける所で。・状況次第だが、「故郷を見直す機会・仲間づくり等」を学ぶ機会に。・生徒、保護者の意向を踏まえて、できれば行かせてやりたい。島根県西部。・中3最大のイベント。・県内なら可能、県内を知る。（休暇村・奥大山、関金・三朝）。・宿泊しなくてもできることを。・学校外での教育活動の体験、県内・島根へ。・今の関西圏は不安。山陰地方や四国地方で実施。・期間の短縮、休日を避けるなどの変更。・学校の判断にお任せします。・大山でのグランピング。・総体中止、運動会短縮など思い切りできないことが多く、このまま受験に向かうのがかわいそう。・何かあったときに保護者が迎えに行ける場所ならよい。等

3《中止》

○生徒2割・保護者3割：意見は同じような内容・・・感染の状況が悪化すれば、中止もやむを得ない。・家族が県外から帰ってきたら、親は出勤停止になる。・コロナウィルスに感染するのが怖い。・今の状況で、他県への移動で感染したら迷惑がかかる。・普通の学校生活を送れるだけでも本当に良かったという思いが強く、修学旅行は中止として、学校生活の充実をお願いしたい。・修学旅行に行ったから感染したという思い出はつくってほしくない。（受験も控えているので）。・今の状況で、行き来することにより感染してしまうという心配がある。・万一感染した場合、子どもや家族がバッシングに耐えられるとは思えない。・不安な中での実施は、楽しめないような気がする。・新型コロナウイルス感染症の終息が見通せず、受験前に大都市圏へ行くことに不安を感じる。・感染する不安を抱えてまでも行かなくていいと思う。・旅行よりも命が大切。等

たくさんの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。私としては「3年生たちに中学時代の大切な思い出を少しでも多く残してほしい」という思いが強く、現段階では「できれば県内でも学習や思い出づくりの活動ができるようにしたい」と考えています。しかし、中部地区の学校の中には、すでに「全て中止」を決定し、「日帰りの活動等も一切しない」という学校まで出てきている状況です。その理由として、『①生徒アンケートでは「感染が怖い、県内でも感染者が出ているので行きたくない。」②学校側として、現状では生徒たちに安全・安心を提供できない。③判断を長引かせることで、3年生や教職員への負担が大きい』ということでした。他にも、学校ごとにさまざまな対応を考えていますが、それも状況が変わる度に二転三転しているようです。

現状では、この夏の人の動きとともに新型コロナの感染は拡大していきそうで、県外で大切な生徒たちの安全・安心を確保することは一段と困難な状況になっていくと予想しています。いずれにしても、生徒・職員で170人近い大きな団体の宿泊や活動を計画することは簡単ではありません。今の2年生の計画、来年への影響も考慮して進める必要もあります。

とにかく、今後の状況を見ながら8月下旬までには、PTA役員・町教委・学校運営協議会等のそれぞれの代表の方々と協議をして最終決定を行う予定です。